



横須賀芸術劇場 ベイスクエア・パーキング 指定管理者 公募

提案のポイント



2012年10月31日

JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

1



共同事業体紹介

提案書参照

1-(4) P.9

【代表企業】

株式会社JTBコミュニケーションズ

- ◆全体統括、事業運営全般を担当
- ◆PFI運営を含めた、行政との協働事業の実績とノウハウ
- ◆川崎市民プラザ、中野区もみじ山文化センター、稲城市立iプラザ（PFI施設）、プラザノース（PFI施設）等、全国23施設。



【構成企業】

株式会社ハリマビステム

- ◆施設維持管理全般、駐車場運営管理を担当
- ◆業界トップシェアを誇るPPP事業の実績
- ◆開館からH22年まで本劇場の清掃業務に従事。施設特性を熟知。鶴見区民文化センター、府中の森芸術劇場など、本社横浜を拠点に実績。



株式会社シグマコミュニケーションズ

- ◆舞台維持管理を担当
- ◆神奈川県立音楽堂など都内近郊50施設を超える舞台管理実績
- ◆大宮ソニックシティなど、大規模で多彩な公演・催事・国際コンベンションにも対応する、舞台管理ノウハウ。



当事業体の特色

- ・PFIをはじめ神奈川・全国に公共施設運営実績
- ・全国の会館/興行主/アーティストとの幅広いネットワーク

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

2



施設運営理念

世界とつながる母港、横須賀芸術劇場

経営方針

はぐくむ

1 テーマ性を持った個性ある劇場へと、
施設価値を高めます

つたえる

2 市民・地域との協働による
新しい地域価値を創造します

ひろげる

3 民間事業者ならではの、
運営・サービス水準の向上を実現します

ささえる

4 施設運営コストの削減を実現し、
市の財政負担軽減に寄与します



1 はぐくむ

経営方針 1

はぐくむ

テーマ性を持った個性ある劇場へと、
施設価値を高めます

目標



多様な普及・育成事業を行いつつも、横須賀芸術劇場らしい「世界とつながる」特色のある事業展開を行うことで、地域における施設価値向上を図ります。

数値目標

市民調査
「市民が横須賀のシンボルとして感じているもの」

10.0%

※H20年市調査
「基本計画策定のための市民アンケート」
※H20年2.8%

主催事業
来館者数
70,000人

※H32年末
※H23は65,432人

実行プラン

多様な普及事業

これまでの多様なジャンルの事業を継続して維持。



項目5-(1)(2) P.52-62

特色のある事業展開

さらに、海外に触れるシリーズ、新たな2つの育成事業を実施。



項目5-(1)(2) P.52-62

劇場の施設価値向上

海外文化の殿堂としてのイメージを育み国内外に広報。



項目2-(4) P.25-26



2 つたえる

提案書参照

1-(4) P.8

経営方針 2

つたえる

市民・地域との協働による 新しい地域価値を創造します

目標



総合プロデュース企業である代表企業ならではの民間の力で、**シティセールス**の視点で市民・地域との協働を行い、横須賀の魅力を伝え、賑わいを創出します。

数値目標

実行プラン

劇場を利用した事業

商店街等と連携し、地域全体のイベントスペースとして劇場を活用し誘客につなげる事業。



シーズン連携事業

米軍横須賀基地・自衛隊のオープンテ-等と連携し地域全体への回遊性を高める事業。



エリア連携事業

観光協会/他会館/美術館/市/メディア等と連携してタウンアートフェスなどのエリア全体活性イベント。



項目2-(6) P.31

※本プレゼンテーション資料P.13に詳細

エリア全体のイベント誘致・実施
5件

※H32年の年間実施件数

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

5



3 ひろげる

提案書参照

1-(4) P.8

経営方針 3

ひろげる

民間事業者ならではの、 運営・サービス水準の向上を実現します

目標



来場者・興行主・アーティストに対する15のサービス向上、興行主が利用しやすい11のサービス向上を行い、施設利用向上を図ります。

数値目標

アンケート顧客満足度
90%

※指定管理移行後新しく採取する利用者アンケート
※H32年度

施設稼働率
大ホール**75%**
小ホール**70%**

※H19-23平均実績
大ホール67.8%、
小ホール59.8%
※H32年度

実行プラン

※本プレゼンテーション資料P.8に詳細

利用者サービス向上

各施設運営のノウハウを活かした、来場者・興行主・アーティストへの15のサービス向上策。



項目2-(1) P.16-17

劇場利用提案

興行主が利用しやすい11のパッケージプランや駐車場増収策等サービス向上を行い利用向上。



項目2-(5) P.27-28

舞台利用者ニーズ対応

相談窓口サービス、演出サポート支援派遣など多様なニーズを理解した柔軟な催事支援対応。



項目5-(5) P.67-73

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

6



4 ささえる

提案書参照

1-(4) P.8

経営方針 4

ささえる

**施設運営コストの削減を実現し、
市の財政負担軽減に寄与します。**

目標



民間ならではの「選択と集中」の運営で、サービス・文化事業の質を上げつつ、経費削減と増収を行い、指定管理料**3億8000万円**の削減を行います。

数値目標

指定管理料
の削減
**3億8000
万円**

※H23年指定管理料を基にした8年間の削減額累計

実行プラン

管理経費の節減

「選択と集中」による適切な経費コントロールを行います。

- ・マルチタスクによる人件費/委託費節減
- ・ライフサイクルマネジメントによる維持管理費節減

事業経費の節減

質や回数を減らすことなく、普及事業から育成事業へシフト。

- ・主催公演を共催事業で実施し公演料節減
- ・本社と現場の役割分担による効率化

外部資金の獲得拡大

文化庁実績など、助成システムを活用した資金調達拡大。

- ・公的/民間助成システムを今後も獲得拡大
- ・地元企業との協賛事業の実施

項目3-(1) P.32-34 ※本プレゼンテーション資料P.10-11に詳細

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

7



利用者への15のサービス向上策 ※別紙任意資料参照

提案書参照

2-(1) P.16

施設利用
サービス



- (1)会館受付時間 ↑
- (2)休館日予約受付 NEW
- (3)休館日 ↑

会員
サービス



- (1)友の会プレミアムサービス ↑
- (2)会員交流の取組 NEW
- (3)アーティストとのラウンジイベントの実施 NEW

利用者

貸し館
サービス



- (1)予約受付と仮押え期間延長 ↑
- (2)申込み方法 ↑
- (3)相談窓口の設置 NEW

市民団体

興行主

来館者

会員

潜在利用者

アーティスト

潜在利用者獲得



- (1)横須賀ツアーの造成 NEW
- (2)割引制度・パッケージ料金 NEW

ホスピ
タリティ



- (1)案内の向上 ↑
- (2)海外対応の充実 ↑
- (3)英語対応コンシェルジュ ↑

アーティスト支援



- (1)海外進出支援 NEW

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

8



当事業体だからこそできること

利用者・市民の皆様の期待を一步上回る満足度向上

当事業体だからこそできること

- 1 8年間の収支計画による**指定管理料の削減**
- 2 総合プロデュース企業による、**施設利用促進**
- 3 シティセールスによる**地域経済連携**

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

9



当事業体だからこそできること

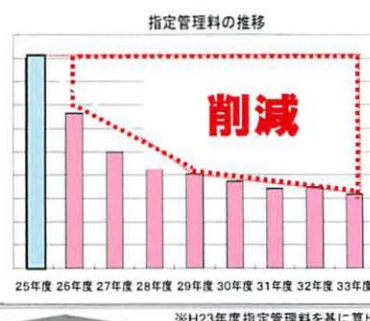
1、8年間の収支計画による指定管理料の削減

提案書参照

3-(1) P.32

「**選択と集中**」の運営で、8年間累計で
指定管理料 3億8000万円を削減

経費の削減を行いながらも、
削減してはならない部分への集中運営



集中

- ・15のサービス向上策
- ・11の施設利用パッケージ施策
- ・育成事業
- ・本社支援経費

効率化

- ・劇場施設維持管理経費（人件費、修繕費等）
- ・普及事業経費
- ・広報費など事業経費

運営における「選択と集中」を可能にするノウハウ

- ・収入増加への効果的なサービス導入
- ・全国の興行主／アーティストとのネットワーク
- ・本社と現場の役割分担による効率化

- ・マルチタスク方式の導入
- ・中期計画による、事業リスク・施設維持・修繕コストの平準化

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

10



当事業体だからこそできること

1、8年間の収支計画による指定管理料の削減

提案書参照

3-(1) P.33

普及事業から育成事業へのシフト

地域芸術文化の普及と発展は、外部から普及事業を導入するだけでは実現できません。次世代を担う市民を育成し、一緒に実現していくことが必要です。

	現在まで	指定管理後
普及・育成 事業費合計	2億500万円	1億2600万円
育成事業経費	2170万円	2760万円 (27%増)
育成事業構成比	11%	22%



※直近三カ年平均と、指定管理8カ年平均の対比

事業における「選択と集中」を可能にするノウハウ

事業経費の削減

- ・事業構成における**共催事業の割合の増加**
- ・興行主が利用しやすい**11の利用促進パッケージ施策**

事業の回数と質を
下げない運営

- ・全国の運営施設で育んできた**プロモーター・アーティストとのネットワーク**
- ・市民ニーズにマッチした良質なコンテンツの取捨選択
- ・本社支援、育成事業アドバイザーなどの内外の厚いサポート

Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

11



当事業体だからこそできること

2 総合プロデュース企業による、施設利用促進

提案書参照

2-(4) P.24

- ・事業ネットワークを活用した普及事業・貸し館事業の推進
- ・本社機能を活かした利用促進と総合運営力



Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

12



シティセールスを具体的に推進し、 賑わいを創出する実績と総合運営能力

地域資源の開発・振興・運営



岸和田市浪切ホール



市内ラン



凱旋パレード

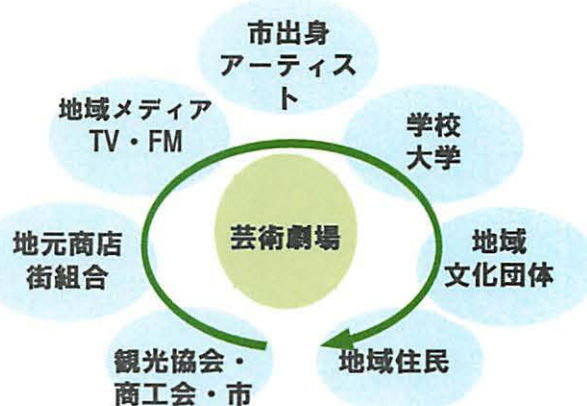


市内全域に誘客

※東日本大震災復興支援市民マラソン事例

地域を繋げ、協働を推進

X



横須賀・芸術劇場に誘客する地域協働イベントをプロデュース

13



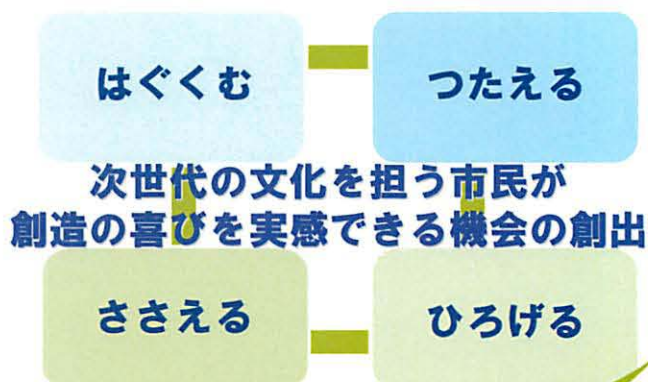
文化事業の考え方

次世代の文化を担う市民を育成し、
ともに横須賀の文化を担っていくステージへ

普及・貸し館事業



育成事業



普及から育成へのシフト
普及と育成の連携



普及事業の考え方

提案書参照

5-(1) P.55-58

幅広いジャンルの事業と海外の芸術文化に触れる独自事業を実施し、普及と育成の連携を推進。

継続事業

●幅広いジャンル

オペラ、バレエ、オーケストラ、伝統芸能など

●地域連携事業

ヨコスカ・ジャズ・ドリームス、アメリカン・サウンド・イン・ヨコスカ

●市民育成事業

芸劇合唱団、芸術劇場フレッシュコンサート

新規事業

幅広いジャンル

- ・芸術劇場クラシックコレクション
- ・0才からのクラシック
- ・松竹大歌舞伎
- ・ヨコスカ寄席
- ・キッズと楽しむジャズ

他

特色のある事業

・海外に触れるシリーズ



- ・ディズニー・オン・クラシック
- ・ヤングアメリカンズ
- ・カ・ナニ・オ・ハワイ in ヨコスカ

オープンハウス



GEKIJOで遊ぼう

【海外に触れる事業の特色】

海外芸術文化に触れるだけでなく、アーティストと市民・子供たちが交流ワークショップを経て一緒に歌やダンスのショーを作り上げる、音楽公演と教育活動国際交流プログラムに注力しています。



Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

15



育成事業の考え方

提案書参照

5-(2) P.59-62

市民に親しまれ評価の高い事業は継続し、育成事業アドバイザー宮本文昭氏とともに新規2事業を積極推進します。

継続育成事業

- ・芸術劇場合唱団
- ・少年少女合唱団
- ・ピアノコンクール
- ・オペラコンクール
- ・フレッシュ・アーティスト
- ・アウトリーチワークショップ活動

新規育成事業

ワガノワ・バレエ・アカデミー



運営施設で実績あり

よこすかジュニアオーケストラ



事業アドバイザー



宮本文昭氏

世界的オーボエ奏者・指揮者
東京シティフィル初代音楽監督

事業計画例：よこすかジュニアオーケストラ

- 8年間の活動で、弦楽器から管楽器のメンバーまで揃えていきます。25周年記念には、記念コンサートを開催します。



ジュニアオーケストラ世界へ!!!

【32年】

全国のジュニアオーケストラへ

【29年】

地域との交流オーケストラ

【26年】結成 基礎固め、年1回の発表会



Copyright © 2012 JTBC・ハリマ・シグマ共同事業体 All Rights Reserved.

16



世界につながる母港、横須賀芸術劇場に向けて

アーティストや子供たち・市民が、横須賀で文化に触れ、育ち、海外へと出航し、また芸劇に凱旋してくる循環を生み出します。

アーティストの海外進出支援について



なぜ当事業体が行政の信頼を得ているか

「誰にでも公平に、安心できる、快適な環境」を提供するという最も基本的な姿勢が、信頼のベースです。

コンプライアンス	・公正・透明・堅実なコンプライアンス運営体制 ・適切・適正な個人情報保護体制	項1-1 項1-2
平等利用	・「公平」「安心」「快適」な利用者サービス	項1-3
労務・人材育成	・職能に応じた適正な評価人件費の設定 ・質の高い全スタッフ一体運営を実現する継続的な人材教育	項1-5 項4-3
環境保護	・「循環型都市よこすか」を目指した環境負荷低減活動と省エネルギー施策	項1-7
男女共同参画	・女性社員の多様な価値観・能力・アイデアを施設経営に取り入れる男女共同参画と女性雇用促進	項1-8
意見要望の反映	・お客さまの声を広く収集し、適切に反映・公表していくことで、信頼感を生み出しサービス向上の仕組み	項2-3
危機管理	・一元的な明確な指揮命令系統の下、磐石な危機管理体制 ・万全の危機管理体制と、事故の発生予防徹底	項2-2 項4-6



なぜ当事業体が行政の信頼を得ているか

「公平・安心・快適」への具体的な地域団体との協力関係

障がい者雇用	・ノーマライゼーションの精神に基づき障がい者雇用の促進や地元障がい者団体との連携 ※「社会福祉法人なないろ」の就労支援への関心表明書	 項1-6
地域貢献	・地域貢献策としての、地元人材の雇用、市内企業からの調達 ※「株式会社リビングカラーコーポレーション」の清掃業務委託への関心表明書 ・学校をはじめとする地域との連携と学習支援	 項2-6 項5-2



最後に

各分野のプロフェッショナルによる一枚岩の運営

提案のサマリー

施設経営理念と4つの経営方針

利用者への15のサービス向上策

当事業体だからこそできること3点

文化事業の考え方

なぜ当事業体が行政の信頼を得ているか



世界とつながる母港、
横須賀芸術劇場



ご清聴ありがとうございました

2012年10月31日

J T B C ・ ハ リ マ ・ シ グ マ 共 同 事 業 体



JTB Communications

B-stem **SIGMA**
COMMUNICATIONS INC.